

令和8年度 富士宮市立大宮小学校グランドデザイン

- 教育活動の基調：「一人一人の こどもは かけがえのない存在である」
- こどもと共有する教育活動の基調：「あなたも大切、私も大切」

学校教育目標 **自ら学び、共に生きる子**

重点目標 **自律した学習者・親和的で自治的集団の創り手の育成**

- 園小中連携して身に付ける7つの資質・能力

◎ 探究する力 ※①～⑦の力の総体)

①知識・技能を活用する力	③対話して問題解決する力	⑤主体的に学び、行動する力
②情報を適切に活用する力	④ゴールに向けて自己調整する力	⑥協働し創造する力
—	—	⑦ウェルビーイングを向上する力

- 問題を自治的に解決しながら、ウェルビーイングの向上を目指すステージ制

4～5月	6～7月	9～10月	11～12月	1～2月	3月
ことば	きれい	じかん	ことば	きれい	ふりかえり

※当事者意識を持って自分の意見を形成し、多様な他者と対話や合意形成を図り、主体的に役割や責任を果たしなら、社会参画する人を育てる取組

学校経営目標 「探究する力」と「自他・地域を愛する心」を育む教育活動



A: 課題解決への具体的な改善方法・重点取組 (1学期)	C: 主な課題 (令和7年度 学校評価より)
<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に対話的な深い学びを実装する。また、個別最適な学びを一層充実させ、協働的な学びとつなげる大宮小ならではのマイプラン学習を実施する。 ◎家庭学習を「指示された学習」から「自ら選択し、創造する学習」への転換を図る。探究的家庭学習、授業と接続する予習・復習、選択制家庭学習を施行する。 ○ブックバックに本を常備し、短時間でも読書を楽しめる状況をつくる。読書通帳の活用、親子読書3DAYを実施する。授業との平行読書を実施する。 ◎当事者意識を持って、対話と合意形成、それぞれが役割を果たす問題解決的なアプローチによる自治的活動を計画的に実施する。 ○児童の委員会活動と学校保健委員会をつなげ、年間を通して児童のメディアコントロール力育成プログラムを児童、家庭と協働して計画的に実施する。 ◎育成部と支援部が相互に連携し、マネジメント委員会が全体方針を統括する体制を整える。情報共有と協働を軸に、学校組織が一体的に機能する運営を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学力調査では平均よりやや高い状況ではあるが、学力の2極化が進み、誰一人取り残さない「個別最適な学習」の一層の充実が求められる。 ●宿題以外に自主勉強に取り組む児童が少ない。(自らの学習状況を確認し、学びを自己調整したり、得意を伸ばしたりする学習に取り組めていない。) ●学校や家庭において時間を見つけて読書する習慣が身に付いていない。年間の学校図書館の書籍の読書冊数は一人当たり23.7冊で全国平均より低い。 ●児童がよりよい学校生活を目指して、学級や委員会活動において主体的な行動は見られるが、みんなのウェルビーイング向上への自治的活動が弱い。 ●睡眠の重要性の理解は進んだ。良質な睡眠の時間確保、読書を含む家庭学習の時間確保において、メディアコントロール力の獲得が喫緊の課題である。 ●運営委員会の内容を改善したことで、学年間の縦のつながり改善は莫有れたが、それぞれの部会の連携を強化するマネジメントが必要である。

地域とともにある学校

- ◎学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な充実
 - ・学校応援団を効果的に活用した、質の高い学びの創造
 - ・良質な書籍との出会いの場の創出（青い鳥）
 - ・ドラえもん教室（学習ボランティア）の開催
 - ・十六市、商店街と連携したキャリア教育・福祉教育の実施
 - ・社会活動への参画の場（三世代交流・防災訓練・浅間大社例祭、地域行事等）の活用
 - ・通学路の安全点検・登下校の見守り活動
 - ・こども会活動（ドッチボール大会）への協力
- 園小中の連携強化
 - ・園小の合同研修会の定期的な実施
 - ・大宮保育園職員による朝の活動支援（架け橋プラン）
 - ・家庭学習をテーマにした小中合同研修の推進
- 富士山 SDGs の実践
- 学校からの情報発信の強化

「大宮小学校文化」の創造

- ◎自治的活動の充実
 - ・なかよし集会・なかよし宣言によるいじめ撲滅
 - ・生活目標を軸とした生活完全プロジェクトの実施
 - ・児童会活動と学級活動の連携
 - ・こどもがつくる運動会の実施
 - ・あいさつ運動の推進
- ◎誰一人取り取り残さない学びの創出
 - ・自分で選ぶ、個の学びをつなげる主体的で対話的な学びの実装
 - ・大宮小ならではのマイプラン学習の推進
 - ・選択制家庭学習、探究的家庭学習の実施
- インクルーシブ教育の推進
 - ・通常学級と特別支援学級の交流活動の充実
 - ・交流授業の推進
 - ・障害や特性、個々の児童が抱える困難を理由に排除しない、必要に応じた適切な支援の提供、教育環境の整備
 - ・専門的知見を有するコーディネーターによる特別支援教育の充実
- 議論する道徳の推進
 - ・保護者参加型の道徳授業参観の実施など
- 地域活動への参画
 - ・浅間大社例祭等への参加（お山開き、お田植祭等）
 - ・小中合同祭典前清掃活動（R8 県表彰）
- 毎週木曜日の「イングリッシュ DAY」「EETime」の実施
- 甘藍（俳句）への参加

	評価の観点（学校評価の観点）	目標値	1 学期	2 学期
1	みんなで学び合う授業は楽しく、学び合うことで授業の目標を達成できている。	96.0		
2	学校には、自分から進んで取り組める活動があり、楽しい。	98.0		
3	マイプラン学習では、自分のペースで学べて楽しく、よく分かる。	95.0		
4	自分の学びを振り返り、足りないところを補うために主体的に学習できる時間や機会が学校にある。	95.0		
5	宿題以外に、自分で選んだり計画したりして取り組む自主勉強は楽しい。	90.0		
6	生活科や岳麓洞学習では、興味をもった課題を見つけ、楽しみながら調べたり追究したりしている。	95.0		
7	学校や家庭で時間を見つけて読書をしている。（年間 30 冊以上を目指す）	85.0		
8	「3 デイ読書」に毎月、家族と一緒に取り組んでいる。	60.0		
9	各月の生活目標を実現するために、学級や個人で取り組むことを話し合い、決まったことに真面目に取り組んでいる。	95.0		
10	学級活動や委員会活動では、学級や大宮小をよりよくするための活動を自分たちで考え、行動できている。	97.0		
11	なかよし集会や「いじめ撲滅なかよし宣言」で全校で話し合ったことを大切にし、気を付けて生活できた。	95.0		
12	メディアを上手にコントロールし、心も体も元気になるように、学んだことを生かして生活している。	90.0		
13	人間関係プログラムの活動は、みんなと仲良くなることに役立った。	90.0		
14	いじめの悩みや困ったことがあれば、先生は話を聞き、解決に向けて支えてくれる。	100.0		
15	「あなたも大事」「自分も大事」という気持ちを意識して生活している。	95.0		